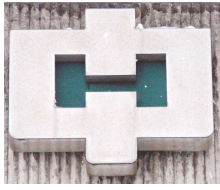


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成28年 12月22日(木) No.18

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

高め合うことに向き合う ～充実した2学期～

「地域を元気にする 畑中（頑張る姿と感謝の心が大事）」「充実した2学期にしよう」という話を2学期の始業式でしました。覚えていますか？

9月の体育祭は晴天の中、軍団対抗とは言え、白軍から変更した青軍と赤軍の両軍が学年・男女を超えて、競技や応援、パネルで互いに精一杯戦い、互いに讃え合いながら全校生徒が盛り上げた畑中らしい体育祭でした。解団式での涙は一生懸命さと友情の証でした。10月の文化祭では、総合学習の発表、生徒会企画の発表、合唱の発表と多くの出番がありました。文化祭の作品づくりと並行して準備が進められました。プルトップ収集の成果として「介護用歩行器」を寄贈することもできました。11月の佐渡市音楽発表会では、全校合唱「信じる」の綺麗なハーモニーを大ホールに響かせました。あの完成度の高さは、「挨拶と歌声が響く畑中（生徒会重点目標の1つ）」を大舞台で発揮した場面でもありました。もちろんその時だけのことでなく、それまでの日々の歌声やよりよい合唱にしようとする強い意志と練習、そして仲間がいたからこそできたことです。

また、2年生は「課題解決型職場体験」を今年度初めて実施して、文化祭だけでなく合同発表会、佐渡再発見でも代表がその取組を発表しました。ポスターを何度も書き直し、発表内容をより分かりやすく、パフォーマンスや発表の仕方も工夫していきました。私も何度かコンピュータ室や練習場面を見て、「しっかり相手に伝わるように発表したい」という気概を感じました。協働してよりよい発表を創り上げていました。

体育祭でも、文化祭でも、合同発表会でも、来校された地域の方々や教育関係者から、「畑野中は挨拶がとってもいいですね」「生徒が明るくて、気持ちがいいですね」等、多くの方からお褒めの言葉をいただきました。正に「地域を元気にする畑中」を実践した2学期でした。1・2・3年生、それぞれがこれらの行事を通して大きく成長したと感じます。皆さんは実感がありますか。皆さんが「よりよい体育祭にしたい」「素晴らしい合唱にしたい」「より分かりやすく伝えたい」等々、**高め合うことに向き合った**からこそ、成長があったのです。みなさんの成長がとっても嬉しく、私自身が元気をもらい、笑顔になります。

もう1つ嬉しいことがあります。それは、1学期にはほとんど皆無だったことが、今はできてきていることです。それは何かというと、分からないところを「分からない。教えて」と言えるようになったことです。私は昼休み校舎をぐるっと回っています。なぜ回っていると思いますか。実は（質問があったらしてほしい、してもいいよ）というつもりで回っていました。1学期のテスト前は一人も質問する人はいませんでした。

ですが、2学期に入ってからテスト前やそれ以外の時でも「校長先生、教えてください」と学年関係なく声を掛けられるようになりました。もちろん私にだけでなく、他の先生方にも質問に来る生徒が増えました。友達同士で聞き合ったり、教え合ったりする姿も珍しくなくなりました。実は先生方も授業の中で、「かわり合い・学び合い」を大切にされた実践を進めていました。一人で分からなければ人に聞く、教えてもらうことは何も恥ずかしいことではありません。社会に出れば当たり前のことです。

以前、全校朝会でも、「間違えたときが理解するチャンスである」と話しました。間違いを直す力は、「①質問すること（質問する力）」「②なぜ間違えたか分析すること（分析する力）」「③繰り返して慣れること（慣れる力）」とも。質問する生徒が増えたこと、互いに教え合う雰囲気が増えてきたことをとても嬉しく思います。**分りたい自分に向き合えばいい**のです。どの先生も、質問されると喜んで教えてくれるはずです。

今年度の冬休みは18日間もあります。特に3年生は受検に向けて大事な時です。この冬頑張ったことが3月に実力となって現れます。この冬、自分が何を勉強すればよいかをはっきりさせ、計画的に取り組みましょう。合格だけが目的ではありません。高校に入ってから卒業できるような十分は基礎学力や理解力、集中力も付けておく必要があります。1・2年生にとっても大事な休みです。生活習慣を崩すことなく、充実した冬休みにしてください。家族で普段できない話をするよい機会でもあります。鉛筆の持ち方について、親子で話題にして、持ち方のおかしい人は意識して直してみてください。（2学期終業式 校長講話より）

クリーンウォーク ～地域貢献、自主的に清掃～

生徒会本部 が企画した「畑野中クリーンウォーク」が14日（水）、放課後行われました。生徒会の重点目標の1つである「地域に貢献する畑中」の活動の一環として、自分たちがお世話になっている地域をきれいにする取組で、ボランティアでの参加者を募りました。全校生徒の約1/3が参加しましたが、3年生の中には参加しなかったけれど三者面談があつて出られなかった人もいました。

時折、みぞれ混じりの寒い天候でしたが、3コースに分かれて、校外に出てゴミ拾いをしました。空き缶や菓子袋、ビニール等が多く、ポイ捨てが多いことが分かります。外国から比べればきれいな日本と言われますが、美しい島・佐渡はポイ捨てなしにしてほしいです。燃えるゴミ、燃えないゴミ併せてゴミ袋10枚分も集まり、生徒はやってよかったと感じていました。その分街がきれいになりました。



私たちの活動の締めくくり

「地域に貢献する」「ボランティアの精神を養う」私たちはこの2つを目標に『クリーンウォーク』を行いました。

雪がちらつく寒い中でしたが、30名を超える生徒が参加してくれました。もっと少ないかなとも思っていたので嬉しく思いました。また、この活動を通して全校生徒の結束がより深まったと思

生徒会長 服部

ます。

そして、この活動によって地域をきれいにすることができ、それによって地域に貢献することができました。

私たち生徒会本部の活動を締めくくるに値する活動となったことに感謝しています。ありがとうございました。

球技大会 ～3チーム対抗ドッチボール、大盛り上がり～

生徒会学年委員会 が企画・運営した球技大会が20日（火）に行われました。希望調査からドッチボールになり、学年混合の縦割り3チーム対抗になりました。5セットマッチで勝敗を決めるのですが、女子対決、男子対決、男女混合対決を組み合せ、男女差を考慮したルールも工夫され、全学年・男女みんなが楽しめる競技になっていました。今年は学年委員会の発案で、学年対抗ではなく学年混合チーム対抗にし、学年を超えた盛り上がりはやはり全校仲が良い畑中らしいものとなりました。珍プレイ、好プレイも続出し、応援する人、プレイする人、観戦して歓声を上げる人、みんなで盛り上がりました。

初めての球技大会 1年 川上

中学初の球技大会はとてもいい思い出になりました。学年混合のチームでしたが、いろんな人と協力して戦った結果優勝できました。試合中には、敵のチームの先輩が「スパイがおるぞ」と軽いジョークを言ってくれたお陰で、敵ですが楽しくゲームができました。

来年は先輩を見習い、みんなが学校行事を楽しめるように行動したいです。

合同チームで大歓声 2年 中川

今年の球技大会はドッチボールに決まり、チーム編成は1年生から3年生で合同チームを作ることにしました。僕は学年委員として、暁翔さんと一緒にルール説明をしました。あまりスムーズにはいきませんでした。ちゃんと説明できてよかったです。

ドッチボールをやっている時も、大歓声わき、みんながとても楽しんでいると感じました。良い思い出となる球技大会になってよかったです。

楽しかった 3年 大澤

僕はNAOKINGのチームリーダーをして、エールを呼び掛けた時、みんながすぐに乗ってくれて嬉しかったです。

僕自身すごく楽しかったです。なぜ楽しかったかという、みんなが本気でやっけてすごく楽しんでいたからです。他の学年とも交流できたのでよかったです。チームは3位でした。みなさんありがとうございました。

